



お答えします
質問します
まちづくり推進について：

安心して子どもを産み育てていけるための環境の整備を進めていきたい。特に、子育て支援事業としての相談・指導事業、多子世帯支援及び幼児・学童保育など支援体制の充実を図り、多様化する住民生活に対応した施策を講じていきたいと思っています。

既存の農林業や商工業などの支援をさらに充実させ町の活性化を図っていきたい。農業については、WTO（世界貿易機関）による農産物の輸入、関税の引下げなど厳しい環境のなか、農畜産業の安定経営を図るためにJAと一緒にやって、あらゆる角度から検討を重ねて進めていきたいと思っています。

温泉や地域の歴史文化を生かしたイベントの開催と、伝統工芸や町の光資源を生かした体験型観光を進め、和水町グリーンツーリズム事業を開拓したいと考えています。

お答えします
質問します
少子高齢化問題について：

安心して子どもを産み育てていけるための環境の整備を進めていきたい。特に、子育て支援事業としての相談・指導事業、多子世帯支援及び幼児・学童保育など支援体制の充実を図り、多様化する住民生活に対応した施策を講じていきたいと思っています。

高齢者福祉については、介護予防事業を充実させるとともに、介護が必要とする高齢者が適切な介護サービスを利用できるよう様々な施策を進めたいと考えています。

平成18年3月1日。
和水町が誕生し、町民の夢と希望を携え新たな第1歩を踏み出しました。

折しも、国と地方の改革による地方分権の推進や三位一体の改革など、自治体を取り巻く環境が激変する中での和水町の船出となりました。

私も、町長就任以来約1ヶ月半が過ぎました。その間、その責務の重さを感じながら、日々の職務を全力を挙げて遂行しているところです。

町政運営については、町長就任にあたっての基本姿勢であります「対話による町づくり」を初志貫徹の強い思いをもって進めてまいりたいと思っています。

どうぞ和水町が町民の融和と協働で、お互いの立場を認め合い、支え合える安心・安全な住みよい町となりますよう、町民の皆様方のお力添えをお願いいたします。

和水町長 坂梨 豊昭
さかなし とよあき

～みんなの笑顔がここにある～ 「なごみのまち」

平成18年4月16日の町長選挙で、和水町長に就任された坂梨豊昭町長。これからは和水町を、真剣な眼差しで語る坂梨町長は、町民の住みよいまちになるよう、いろんな想いを抱えて日々過ごしておられるようです。

そんな坂梨町長に、私たちのまち、和水町についてお話を伺つてみました。



お答えします
質問します
道路の整備について：

旧2町間の融和を図るために、

特に、県道玉名立花線については、合併支援道路として位置づけ整備を進めることで、玉名八女線や菊水インターチェンジ、新幹線新駅へのアクセス道路の整備を進めたいと考えています。